Panasonic

取扱説明書

ソフトウェア（ファクス送信ドライバー編）

デジタル複合機用

このたびは、パナソニック製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。
取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。
また、本書の内容は、お使いのパーソナルコンピューターの環境や、ネットワーク環境の基本的な知識や操作方法を習得されていることを前提に説明しています。

Microsoft 、MS-DOS、Windows 、Windows Server、Windows Vista、Internet Explorer、Excel、PowerPoint、Outlook、Windows ロゴは米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。

Microsoft Corporation のガイドラインに従って画面写真を使用しています。

インテル、Intel ロゴ、Intel Inside ロゴ、Itanium、Pentium は、米国およびその他の国における Intel Corporation またはその子会社の商標または登録商標です。

IBM と AT は、米国およびその他の国における IBM Corporation の商標または登録商標です。

USB-IF のロゴは Universal Serial Bus Implementers Forum, Inc の商標です。

Mac、Mac OS、Macintosh、True Type、Apple は、米国 Apple Computer, Inc の登録商標です。

Novell, NetWare, intraNetWare, NDS は、米国 Novell, Inc. の米国およびその他の国における登録商標です。

PeerlessPage™ は Peerless Systems Corporation の商標です。
PeerlessPrint® と Memory Reduction Technology® は Peerless Systems Corporation の登録商標です。© 2005 PEERLESS Systems Corporation.

PCL は、米国ヒューレット・パッカード社およびその子会社の商標または登録商標です。

Adobe、Adobe ロゴ、PostScript、PostScript3、Reader は、Adobe Systems Incorporated（アドビシステムズ社）の米国ならびに他の国における商標または登録商標です。© 2005 Adobe Systems Incorporated（アドビシステムズ社）

Universal Font Scaling Technology（UFST）および、そのすべての書体は Monotype Imaging 社よりライセンスを受けています。
ColorSet™ は米国の特許商標局で登録されている Monotype Imaging Inc. の登録商標であり、そして他の管轄区域で登録されている場合があります。
Monotype Imaging 社からライセンスしている ColorSet™ の技術により、生成および編集したカラープロファイルを使用しています。
© 2005 Monotype Imaging Inc.

このデバイス用のアプリケーションソフトウェアプログラムは、GNU Lesser General Public License に基づきライセンスされるプログラムおよびその他のオープンソフトウェアが含まれています。その詳細及びライセンス条件については、Panasonic Document Management System CD-ROM のはじめにお読みくださいを参照してください。

その他の本書に記載されている会社名および製品名はそれぞれの各社の商標または登録商標です。
なお、本文中では ™、® マークは一部明記しておりません。

目 次

はじめに 4

動作環境 6

システム構成 8

- システム設定 8
- 装置の設定情報タブ 9
- 電話帳タブ 11
- 送信設定タブ 13

文書を送信する 14

- ジョブステータスユーティリティー（完了通知ユーティリティ） 16

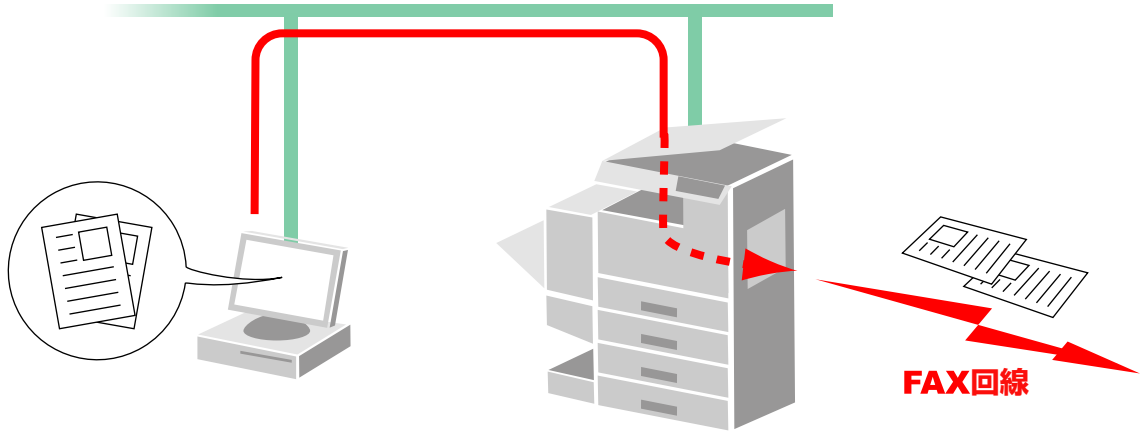
付録 20

- ソフトウェアのアンインストール 20
- こんなときには 21

はじめに

ファクス送信ドライバー は、簡単な設定でファクスを送信するソフトウェアです。ネットワークに接続された装置を利用して、コンピューターからファクス送信を行うことができます。

・コンピューターで作成されたドキュメントを、本機から直接、ファクス送信します。
　ファクス送信のためにドキュメントを印刷する必要はありません。



制限事項

- 送信できる原稿のデータサイズは、装置のメモリーに入るサイズに限られます。PC から装置へのファクスデータ転送中に装置がメモリーオーバーになった場合は、その送信はキャンセルされます。そのため、ファクス用増設メモリーの装着をお勧めします。
- 送信できる宛先の最大数は、装置の直接ダイヤルの最大数に限られます。PC から装置へのファクスデータ転送中に宛先最大数を越えた場合は、その送信はキャンセルされます。
- 装置には、インターネットファクス機能と通常のファクス機能が必要です。

動作環境

- コンピューター本体 : IBM® PC/AT® 互換コンピューター（Intel® Pentium® 4 1.6 GHz以上のCPU を推奨）
- オペレーティングシステム : Microsoft® Windows® 2000 (Service Pack 4 以降) 日本語版 *1
  Microsoft® Windows® XP (Service Pack 2 以降) 日本語版 *2
  Microsoft® Windows Server® 2003 (Service Pack 1 以降) 日本語版 *3
  Microsoft® Windows Vista® 日本語版 *4
  Microsoft® Windows Server® 2008 日本語版 *5
  *ただし、以下のオペレーティングシステムには対応していません :
  Microsoft® Windows Server® 2003 Enterprise Edition for Itanium®-based systems
  Microsoft® Windows Server® 2008 Enterprise Edition for Itanium®-based systems
- アプリケーションソフトウェア : Microsoft® Internet Explorer® 6.0 Service Pack 1 以降
  Microsoft® .NET Framework Version 2.0
  .NET Framework Version 2.0 Language Pack
- システムメモリー : オペレーティングシステムごとに、以下のシステムメモリーが必要です

Microsoft® Windows® 2000 日本語版	: 256 MB 以上
Microsoft® Windows® XP 日本語版	: 512 MB 以上
Microsoft® Windows Server® 2003 日本語版	
Microsoft® Windows Vista® 日本語版	: 1 GB 以上
Microsoft® Windows Server® 2008 日本語版	

- 空きディスク容量 : 300 MB 以上（画像を保存するための領域は含まず）
- CD-ROM ドライブ : ソフトウェアのインストールに必要
- インターフェース : 10 Base-T/100 Base-TX/1000 Base-T イーサネットポート

*1 Microsoft® Windows® 2000 オペレーティングシステム（Windows 2000 と表記）
*2 Microsoft® Windows® XP オペレーティングシステム（Windows XP と表記）
*3 Microsoft® Windows Server® 2003 オペレーティングシステム（Windows Server 2003 と表記）
*4 Microsoft® Windows Vista® オペレーティングシステム（Windows Vista と表記）
*5 Microsoft® Windows Server® 2008 オペレーティングシステム（Windows Server 2008 と表記）

メモ

システム設定

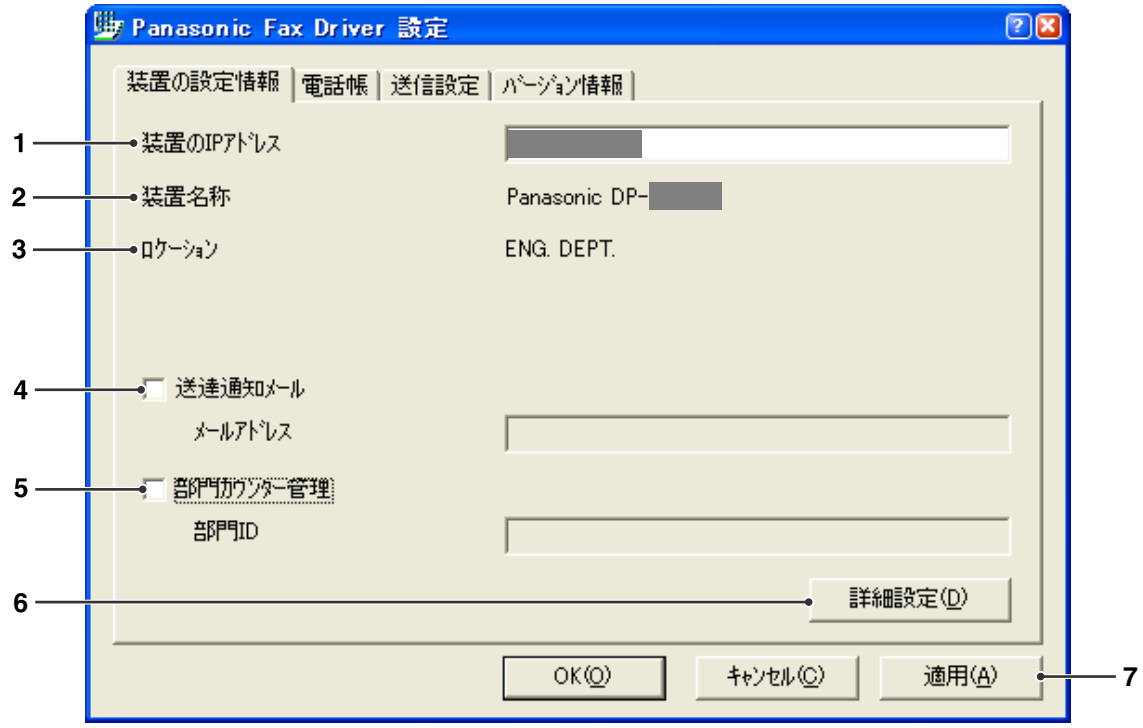
基本設定は、ファクス送信ドライバーをインストールしたときに完了しています。通常は追加の設定は不要です。

お願い：
ファクス送信ドライバーを使って文書を送信するには、装置とファクス送信ドライバーに同じ**中継用パスワード**を設定します（10 ページを参照）。
パスワードが一致しないと、送信できません。

［**スタート**］メニューから、［**すべてのプログラム**］（Windows 2000 では［**プログラム**］）をクリックし、［**Panasonic**］→［**Panasonic Document Management System**］→［**ファクス送信ドライバー設定**］の順に選択し、Panasonic Fax Driver 設定ウィンドウを開きます。

装置の設定情報タブ

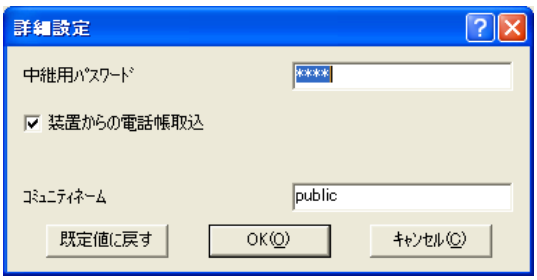
デバイス関係の必要なパラメーターを設定します。



1. **装置の IP アドレス**
   送信に使用する装置の IP アドレスが表示されます。ここに IP アドレスを直接入力して、送信に使用する装置を変更することができます。
2. **装置名称**
   送信に使用する装置の装置名称が表示されます。
3. **ロケーション**
   送信に使用する装置に登録されているロケーションです。装置を特定できるように、通常は部門名やフロア名が登録されています。
   （例：ENG. DEPT）
4. **送達通知メール**
   チェックボックスをチェックしている場合、入力されたメールアドレスにファクス送信の送達通知がメールで送達されます。
   お願い：
   装置のインターネットファクスの設定とシステム登録 No.143 LAN 中継結果転送はすべての設定がされていることが必要です。
5. **部門カウンター管理**
   装置が部門管理されている場合には、このチェックボックスをチェックして部門 ID を入力します。部門 ID は、システム管理者により管理されています。

6. **詳細設定(D) ボタン**

詳細設定を設定します。



・**中継用パスワード**

装置に設定されている中継用パスワードと同じパスワードを設定します。

お願い：

・中継用パスワードは、装置とファクス送信ドライバーで同じものが設定されている必要があります。一致しないと装置は送信を受け付けません。

・装置の中継用パスワードは自局情報の登録で設定します。詳細は、本体添付の取扱説明書をご参照ください。

・**装置からの電話帳取込**

電話帳データを装置から取得するときに選択します。

・**コミュニティネーム**

装置に設定されているコミュニティネーム 1 と同じものを設定します。初期設定では、装置もファクス送信ドライバーも同じコミュニティネームが設定されています。装置のコミュニティネームを変更しない場合は、ファクス送信ドライバーのコミュニティネームも初期値から変更する必要はありません。

お願い：

・**コミュニティーネーム**が不明な場合は、管理者へお尋ねください。

・コミュニティネームは、装置とファクス送信ドライバーで同じものが設定されている必要があります。一致しないと装置の情報を正しく取得できないため、いくつかのファクス機能が無効になります。

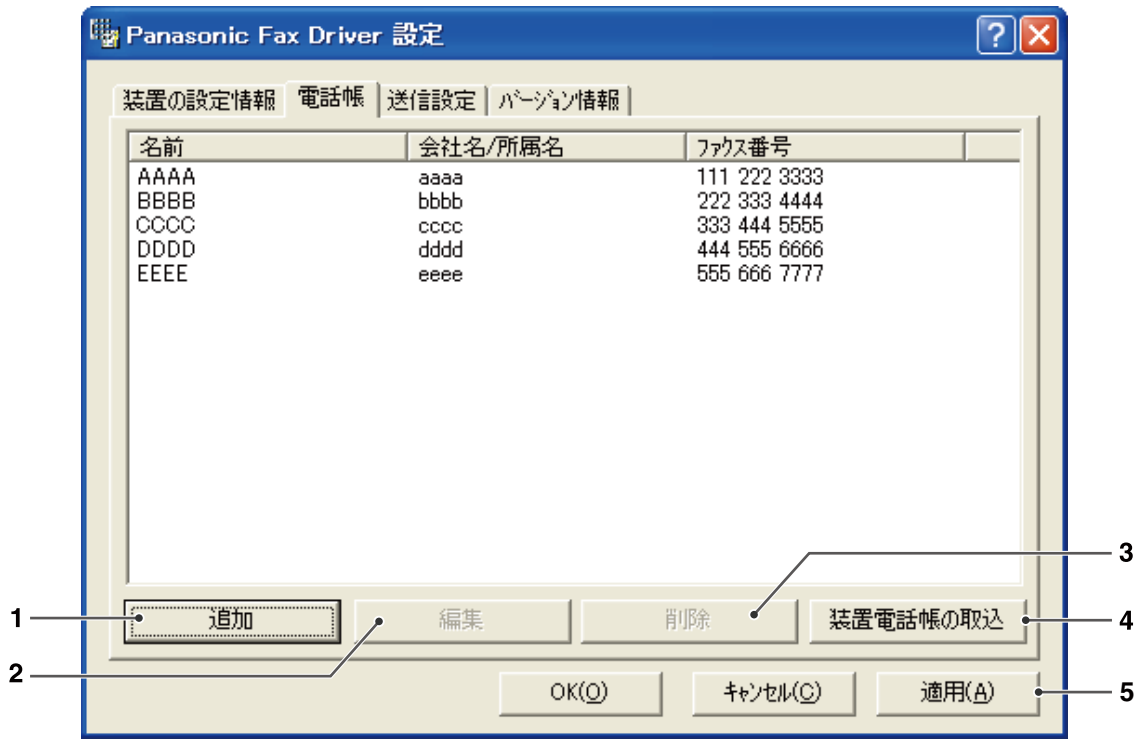
7. **適用(A) ボタン**

現在の設定を登録します。

電話帳タブ

電話帳は、[装置電話帳の取込] をクリックすることにより、装置に登録されている電話帳を取り込みます。

取り込んだ電話帳に、宛先を追加 / 削除または編集することができます。



1. **追加 ボタン**（詳細は 12 ページを参照してください）

   電話帳に新規宛先を追加します。

2. **編集 ボタン**（詳細は 12 ページを参照してください）

   電話帳の宛先を編集します。

3. **削除 ボタン**

   電話帳の宛先を削除します。

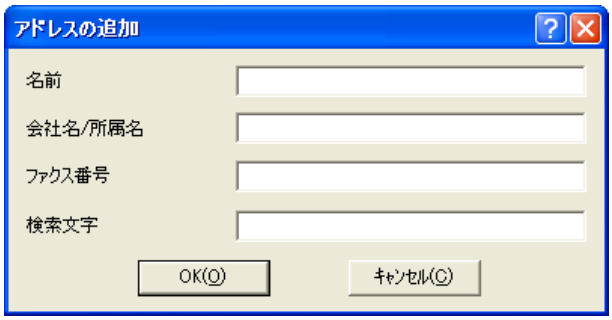
4. **装置電話帳の取込 ボタン**

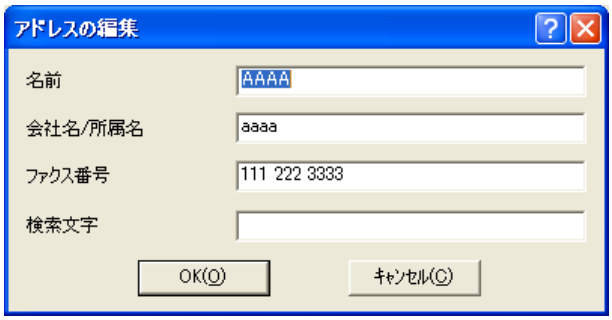
   装置に登録されている電話帳を取り込みます。

   お知らせ :
   装置に登録されている電話番号が 36 桁を越えている場合は、その電話番号は取り込めません。また、サポートしていない機能（s= サブアドレス、F= フラッシュ）が登録されている場合も、その電話番号は取り込めません。

5. **適用(A) ボタン**

   現在の設定を登録します。

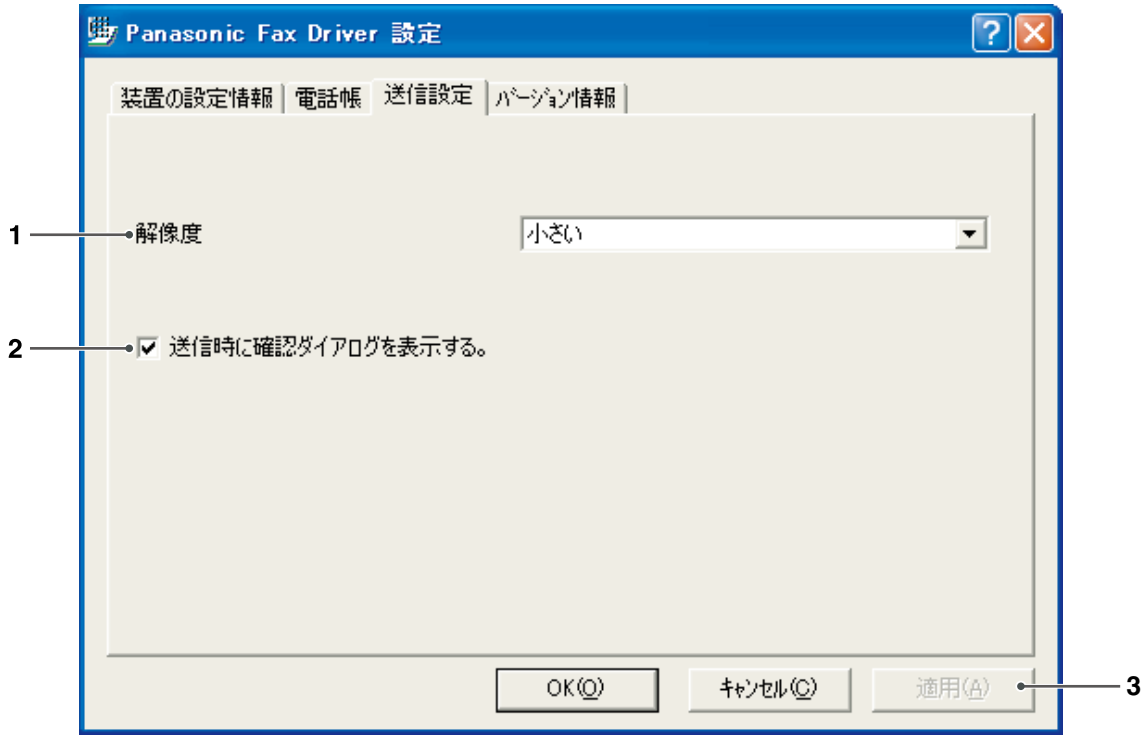




- **名前（半角 32 文字 / 全角 16 文字まで）**
  宛先の名前を入力します。
- **会社名 / 所属名（半角 50 文字 / 全角 25 文字まで）**
  会社名、所属名を入力します。
- **ファクス番号（36 桁まで）**
  ファクス番号を入力します。
  お知らせ :
  ダイヤルポーズを入力する場合は、カンマ "," を入力します。
- **検索文字（全角カナ 8 文字まで）**
  電話帳のソート順番用に入力します。全角カタカナのみ入力できます。

送信設定タブ

ファクス送信パラメーターを設定します。



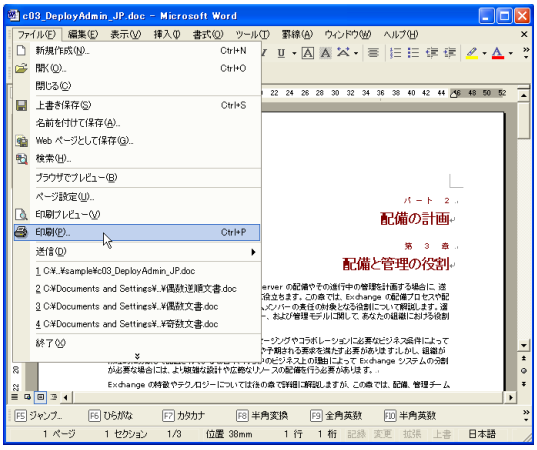
1. **解像度**
   ファクス送信の解像度を選択します（ふつう、小さい、細密）。
2. **送信時に確認ダイアログを表示する。**
   ファクス送信の前に確認画面を表示するときに選択します。
3. 適用(A) **ボタン**
   現在の設定を登録します。

文書を送信する

ファクス送信ドライバーに印刷出力するだけで、Windows のアプリケーションから直接ファクスを送信できます。文書を作成後、以下の手順に従って進めてください。

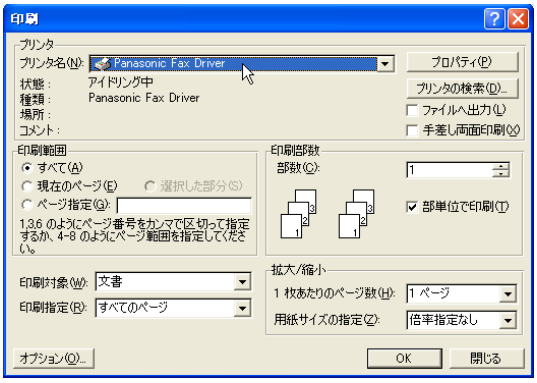
お知らせ :
送付状のみを送信したい場合は、デスクトップ上のファクス送信ドライバーアイコンをダブルクリックし、送付状の詳細設定画面を開きます（15 ページを参照)。
送付状に必要な情報を入力し、宛先入力画面にて宛先指定をした上で、送信してください。

1 現在のアプリケーションで、[**ファイル**] から [**印刷 ...**] を選択します。



2 印刷ダイアログボックスが表示されます。プリンタ名から［**Panasonic Fax Driver**］を選択します。

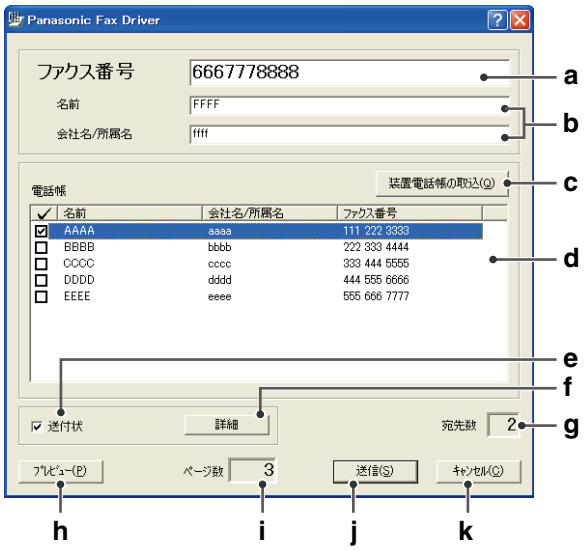
OK をクリックし、原稿をファクスの画像に変換します。



お知らせ :
プロパティ(P) の設定は通常変更する必要はありません。初期設定のままご使用ください。

3 宛先入力画面が開きます。

宛先の入力が終了したら 送信(S) ボタンをクリックします。



a) **ファクス番号**
ファクス番号を直接入力します（36 桁まで)。一度に入力できるのは一宛先だけです。
ファクス番号内で、ポーズを使用する場合は、カンマ（,）を入力します。

b) **名前、会社名 / 所属名**
送付状に表示される、名前・会社名 / 所属名を入力します。

c) **装置電話帳の取込(Q) ボタン**
装置に登録されている電話帳を取り込みます。

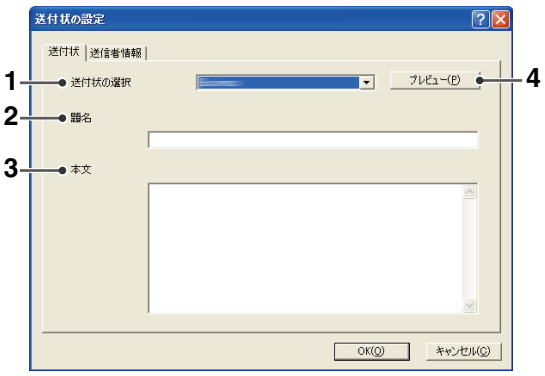
d) **電話帳**
電話帳の列のソート順番（昇順または降順）は、タイトルをクリックすることにより、簡単に変更できます。

チェックボックス
チェックの入っているボックスは、選択済みの送信先を意味します。
名前、会社名／所属名、ファクス番号
電話帳に登録された送信先の名前、会社名／所属名とファクス番号を表示します。

e) **送付状**
チェックボックスをクリックすることで、送付状を追加できます。

f) 詳細 **ボタン**
送付状の詳細設定画面が開きます。

送付状タブ



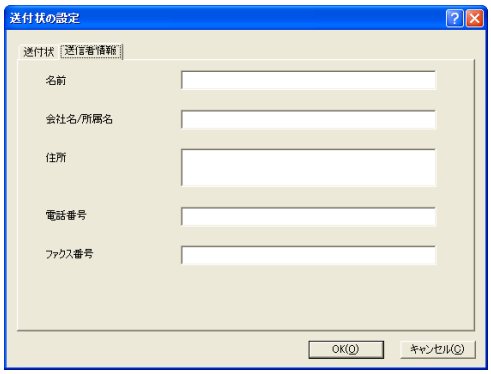
1) **送付状の選択**
送付状に適用するテンプレートが選択できます。

2) **題名**
送付状の題名を記入します。

3) **本文**
送付状に記載する文章を記入します。

4) プレビュー(P) **ボタン**
送付状のプレビュー画面を表示します。

送信者情報タブ



送付状に表示される送信者情報を入力します。

入力が完了しましたら、 OK をクリックします。

g) **宛先数**
選択された送信先の総数を表示します。

お知らせ :
一度に 5 件の送信先まで選択できます。

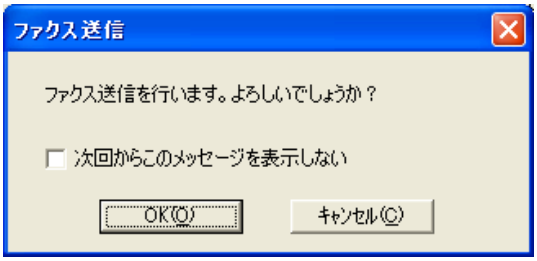
h) プレビュー(P) **ボタン**
送信する文書の全ページを確認することができます。

i) **ページ数**
送信する文書の総ページ数が表示されます。

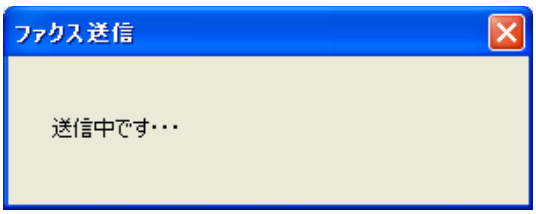
j) 送信(S) **ボタン**
ファクスの送信を開始します。

k) キャンセル(C) **ボタン**
ファクスの送信を取り消します（ファクスデータは削除されます）。

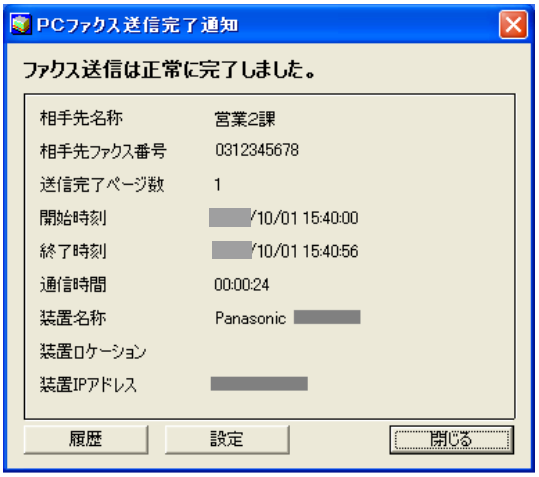
4 ファクス送信確認画面が表示されます。
OK をクリックして、送信を開始します。



5 原稿を送信中に、メッセージが PC に表示されます。



6 ファクス送信が終了するとポップアップウィンドウが開き、送信結果を通知します。
閉じる をクリックしてウィンドウを閉じます。



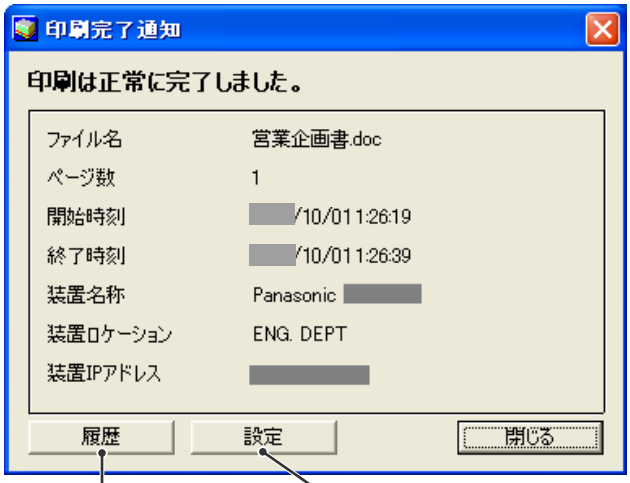
ジョブステータスユーティリティー(完了通知ユーティリティ)

ジョブステータスユーティリティー（完了通知ユーティリティ）は、印刷、PC ファクス、コピーなどのジョブの完了を、ポップアップウィンドウで通知するソフトウェアです。
表示される情報はジョブの種類によって異なります。

■ ジョブステータスユーティリティー（完了通知ユーティリティ）

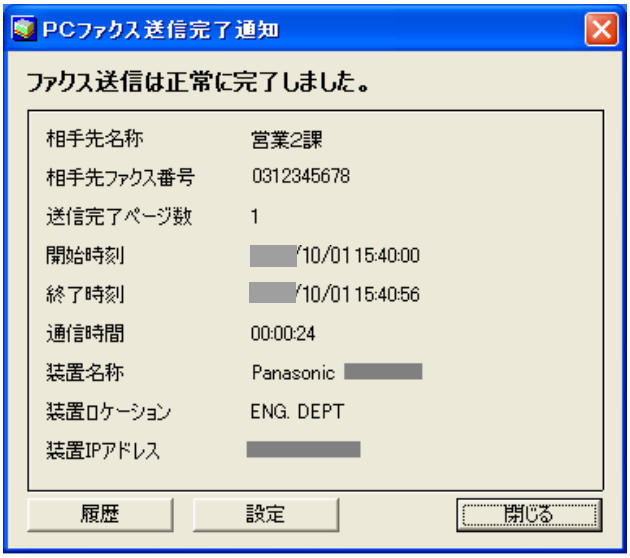
ジョブが完了すると、次のようなポップアップウィンドウが表示されます。

印刷完了通知



履歴 ウィンドウを開きます。 **設定**ダイアログボックスを開きます。

PC ファクス送信完了通知



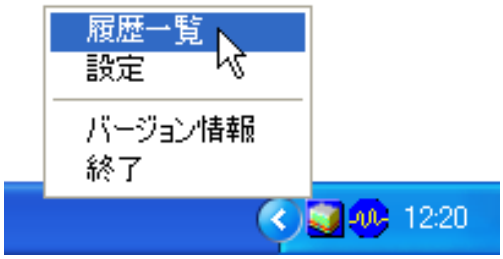
完了通知や履歴一覧には、以下の項目があります。

状態	完了、キャンセルなど、ジョブのステータスを表します。
エラーメッセージ	エラーコードなど、エラー情報を表します。
タイプ	印刷、ファクス、コピーなど、ジョブの種類を表します。
ファイル名	印刷ジョブのファイル名を表します。
ページ数	印刷、コピーなどのページ数を表します。
ページ数（送信）（送信完了ページ数）	装置から送信された PC ファクスジョブおよびファクスジョブのページ数を表示します。
開始時刻	ジョブの開始時刻を表します。
終了時刻	ジョブの終了時刻を表します。
通信時間	ファクス送信にかかった通信時間を表します。
相手先ファクス番号 / メールアドレス	ファクスジョブの送信電話番号、メールアドレスを表します。
相手先名称	ファクスジョブの送信先名を表します（ファクス送信に電話帳を使用している場合）。
装置名称	使用した装置名を表します。
装置ロケーション	使用した装置の場所を表します。
装置 IP アドレス	使用した装置の IP アドレスを表します。
ユーザー名	実行中ジョブのユーザー名を表します。
コンピューター名	実行中ジョブのコンピューター名 /IP アドレスを表します。

■ 履歴の表示

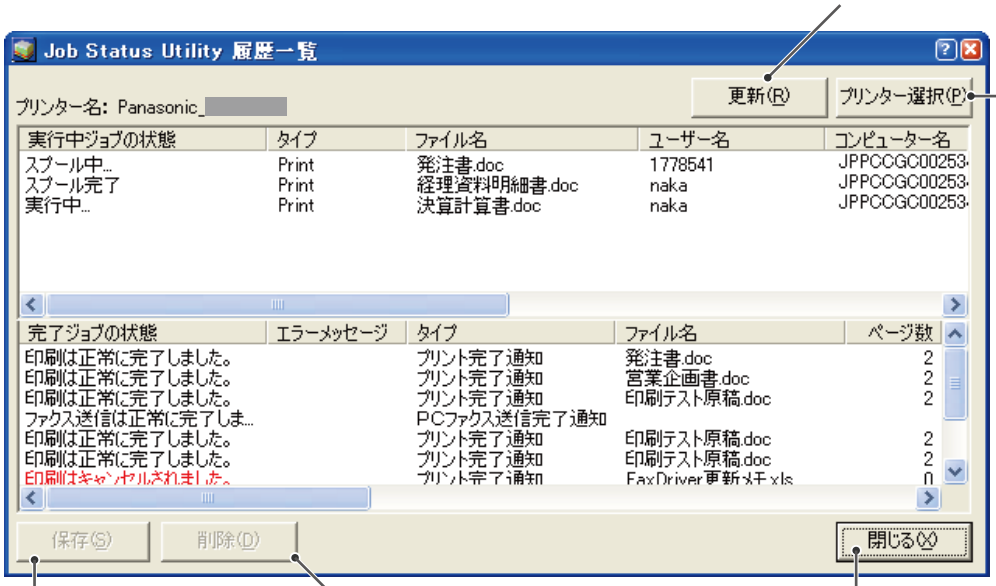
ジョブステータスユーティリティー（完了通知ユーティリティ）は、ジョブの記録をログファイルとして保存します。ログファイルには、最新ジョブ 100 件を保存することができます。

履歴一覧 ウィンドウを表示するには、完了通知ダイアログボックスの 履歴 をクリックするか、タスクバーのジョブステータスユーティリティーアイコン を右クリックして、ポップアップメニューから **履歴一覧** を選択します。



履歴一覧ウィンドウが表示されます。

お知らせ：
タスクバーにジョブステータスユーティリティーアイコン が無い場合には、［**スタート**］をクリックし、［**すべてのプログラム**］（Windows 2000 の場合［**プログラム**］）→［**Panasonic**］→［**Panasonic Document Management System**］→［**ジョブステータスユーティリティー**］の順にメニューを選択すると、ジョブステータスユーティリティーアイコンが表示されます。



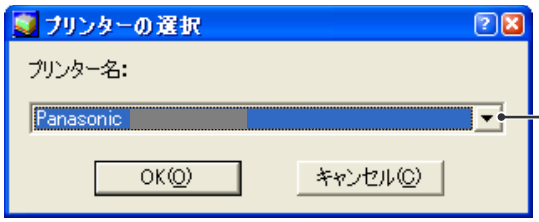
履歴一覧画面を更新します。

プリンターの選択画面を表示します。（下の画面を参照）

履歴一覧の内容を CSV 形式のファイルとして保存します（完了ジョブのみ）。

選択した実行中プリンタジョブを削除、またはすべての完了ジョブの履歴を削除します。

履歴一覧ウィンドウを終了します。



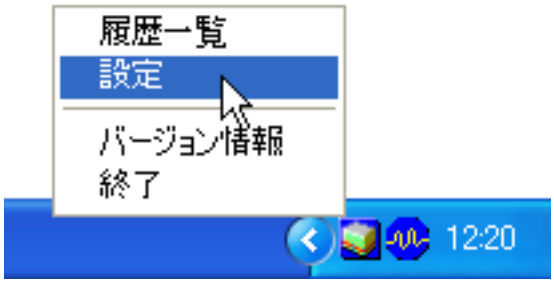
履歴を表示するプリンターを選択します。

お知らせ　本機をローカル（USB/ パラレル）接続してお使いの場合、印刷完了通知は表示されません。

■ ジョブステータスユーティリティー（完了通知ユーティリティ）の設定

ジョブが完了したときの完了通知ウィンドウを表示する条件を設定します。

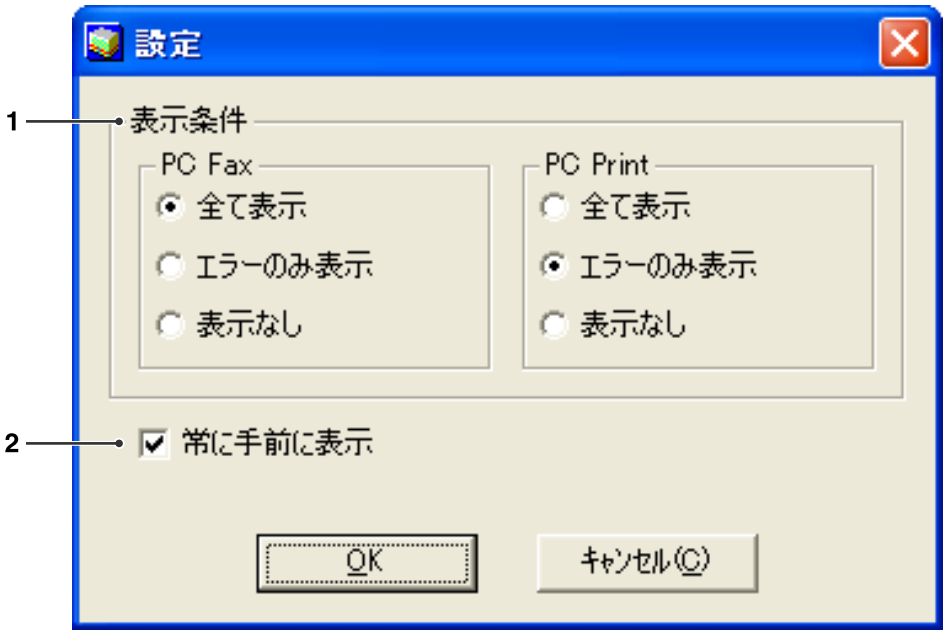
ジョブステータスユーティリティー（完了通知ユーティリティ）の動作は、**設定** ダイアログボックスで設定できます。**設定** ダイアログボックスを表示するには、完了通知ダイアログボックスの［設定］をクリックするか、タスクバーのジョブステータスユーティリティーアイコンを右クリックして、ポップアップメニューから **設定** を選択します。



設定ダイアログボックスが表示されます。

お知らせ：

タスクバーにジョブステータスユーティリティーアイコンが無い場合には、［**スタート**］をクリックし、［**すべてのプログラム**］（Windows 2000 の場合［**プログラム**］）→［**Panasonic**］→［**Panasonic Document Management System**］→［**ジョブステータスユーティリティー**］の順にメニューを選択すると、ジョブステータスユーティリティーアイコンが表示されます。



1. **表示条件**

   完了通知のポップアップウィンドウをいつ表示するかを選択します。

全て表示	ジョブ完了時には常に表示します。
エラーのみ表示	エラー発生時のみ表示します。
表示なし	常に表示しません。

2. **常に手前に表示**

   完了通知のポップアップウィンドウを他のウィンドウの前面に表示します。

   この設定がチェックされない場合、ポップアップウィンドウは他のウィンドウに隠れて見えないことがあります。ポップアップウィンドウが表示されると、タスクバーの**ジョブステータスユーティリティー**アイコンが点滅します。アイコンをクリックすれば、ポップアップウィンドウが前面に表示されます。

メモ

ソフトウェアのアンインストール

ファクス送信ドライバーを単独でアンインストールする方法は、Panasonic 電子マニュアル CD-ROM セットアップ　ユーザー編を参照してください。

こんなときには

モード	問題	原因 / 対策
文書を送信する	送信したときにすぐエラーメッセージが表示される。 	**- 中継用パスワードが正しく設定されていますか？** 装置の中継用パスワードと同じパスワードを **中継用パスワード** に設定しないと送信できません。（10 ページを参照）
		- 装置の自局登録のなかで中継許可ドメイン名が登録されていませんか？ 中継許可ドメイン名が登録されている場合は、装置は登録されているドメイン名とファクス送信ドライバーのドメイン名を照合して、一致しないと送信を受け付けません。この場合は、装置に下記のように追加登録をしてください。 送達通知メールを設定していない場合： 中継許可ドメインを次のように登録します。 **fax_driver** 送達通知メールを設定している場合： 送達通知メールアドレスと同じ中継許可ドメインを登録します。 例：送達通知メールアドレスが fax@network.com である場合、中継許可ドメインを以下のように登録します。 **network.com**
完了通知	送信結果の完了通知が表示されない。	**- ウイルス対策ソフトが実行されていませんか？** ウイルス対策ソフトが実行されていると、ファクス送信ドライバーが正常に PC ファクスジョブを送信できない場合があります。ウイルス対策ソフトごとの対処方法については、以下の弊社 Web ページを参照してください。 http://panasonic.co.jp/pcc/info/dwnld.html
インストール	ソフトウェアがインストールできない。	**- ウイルス対策ソフトが実行されていませんか？** ウイルス対策ソフトなどが動作しているコンピューターでは、インストールが正常に完了しないことがあります。ソフトウェアのインストールは、ウイルス対策ソフトを停止してから行ってください。 インストールが正常に完了した場合でも、一部のウイルス対策ソフトを動作させるとソフトウェアが正常に動作しないことがあります。ウイルス対策ソフトごとの対処方法については、以下の弊社 Web ページを参照してください。 http://panasonic.co.jp/pcc/info/dwnld.html

パナソニック コミュニケーションズ株式会社
ドキュメントソリューションズカンパニー

© Panasonic Communications Co., Ltd. 2005-2009

I0505-9039 (03)
PJQMC0395SA
March 2009
Published in Japan